

# とよたかがくたいけんかんニュース

Vol.99 令和3年7月発行

# 科学★体験館NEWS

## 天文セミナー はやぶさ2の活躍を語る講演会



6月12日(土)に天文セミナー「はやぶさ2-リュウグウ探査の成果と新たな旅立ち-」を開催しました。

今回は、はやぶさ2プロジェクトから菊地翔太先生と岩田隆浩先生を講師としてお招きし、菊地先生は、岩だらけのリュウグウへの探査機着陸を中心とした技術面での挑戦について、岩田先生は、地球の水の起源を探るための小惑星の分光観測の方法などをお話いただきました。緊急事態宣言下でしたので岩田先生はリモートでの講演となりましたが、専門的な話も多く、現場の雰囲気も伝わる充実した内容でした。

まだまだ探査の旅が続くはやぶさ2を引き続き応援していきたいですね。

## サイエンスランド① 6月6日(日)開催 「顕微鏡でミクロの世界を探検しよう」

「ゾウリムシがあんなに動くとは…」(小3) 顕微鏡を覗くとそこには確かに生き物がいた。けっこう動き回っていた。

「砂でもよく見ると、とてもキラキラしたものなどがあって…」(小5) ただ砂だと思っていたものが多様な色や輝きを放ち、美しい世界を作っていた。

顕微鏡のワークショップは、昨年度はコロナ禍で中止され2年ぶりの開催となりました。当日は、市内の小中学校自主研(理科)グループの先生が5人も講師として集まってくださり、マンツーマンの指導でした。

参加者一人に生物顕微鏡・双眼実体顕微鏡が各1台ずつ準備されたり、顕微鏡カメラを通して映像を大型モニターを通して見ることで見ることができたりと、充実したワクワクする教室となりました。



## 水にボーリング球が浮かんだ!! 5月5日(水) 子どもの日 スペシャルサイエンスショー

5月5日(水)こどもの日に、スペシャルサイエンスショー『うかな?しずむかな?どっちかな?』を午前・午後の2回開催しました。今回、講師としてお招きしたのは名古屋市科学館の山田吉孝さんと小野田智代さんで、当館では初のご登場です。



最初の実験は「野菜が水に浮く・浮かない」のクイズ形式の実験です。ピーマン、ニンジン、キャベツ、ジャガイモ、かぼちゃ、大根。さて、何が浮いたでしょうか?ご家庭でもおうちの人と一緒に試してみると楽しいですよ。最後は、「ボーリング球の浮き沈み」の大実験です。同じ大きさで重さの違う3個のボーリング球が水に浮かぶか、沈むか

をボーリング球と同じ体積の水の重さとの比較から浮き・沈みを予想し、実験で確かめました。

最後には、水に沈んだ重いボーリング球を水よりさらに重い水(塩水)で見事に浮かせました。コロナの影響で大歓声とは言えませんが、会場から、大きな拍手がわき起こりました。



## ★天文トピックス★ 今年の夏休みは「ペルセウス座流星群」

毎年、夏休みの時期に見られるペルセウス座流星群。流星群は、たくさんの流れ星が空の一点からいろいろな方向に流れるように見えます。その中心(放射点)がペルセウス座にあるため「ペルセウス座流星群」と呼んでいます。

今年のペルセウス座流星群の「極大(ピーク)」は8月13日午前4時頃と予想が出ていますので、12日の夜から明け方にかけてがオススメです。月明かりの影響もなく、たくさんの流れ星に出会えるチャンスです。

ペルセウス座は秋の星座の一つで、遅い時間になれば高く上ってきます。しかし、ペルセウス座だけを見ていればいいというわけではありません。流れ星はいろいろな方向に流れるので、空全体が広く見えるところで見てみましょう。速くて明るい流れ星が多いのが特徴です。街明かりのないところなら1時間に50個以上見えるかもしれません。

2021年8月13日 午前3時頃  
東京の星空



国立天文台  
天文情報センターより